

調査期間 2014年12月16日～継続中
所在地 伊勢原市上粕屋
時代 近世、中世、奈良・平安、縄文
調査原因 国土交通省関東地方整備局による
厚木秦野道路建設事業に伴う埋蔵
文化財発掘調査
遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西約
3km、大山東南麓に広がる台地上
に位置する。



主な調査成果

近世では、大山へ向かう道の一つ大山道「青山通」の跡が見つかりました。この道路は今の大山道（県道611号）から北東へ約55m離れた場所に掘られていた大形の堀割道で、すでに中世（15世紀後半～16世紀）には使われていたことが出土遺物から分かりました。中世では、掘立柱建物跡3棟の他に溝や土坑が見つかっています。奈良・平安時代では、道路跡と「円形土坑」が見つかりました。この道路跡も大山へ向かって伸びています。縄文時代では、集石遺構や陥穴が見つかり、縄文時代早期、前期末～中期初頭の土器が多く出土しました。2015年6月から旧石器時代の調査を行っています。



近世 青山通



中世 掘立柱建物跡、塀跡



縄文時代 陥穴



調査風景